

## 編集後記

岡山大学環境管理施設は、本学における教育・研究活動に伴って排出される公害性廃液の全学共同利用の処理施設として設立されたものである。昭和53年度にはスラッジ保管庫等の危険物保管庫も新営され、無機廃液部門の自営化、分析機器の整備等により、その内容を充実させつつある。また、本学においては、排出された実験廃液は排出者自身の責任において処理するという基本的立場から、技術指導員制度を導入し、教職員及び学生の共同利用により、本施設の運営にあたってきた。

この時期に、本施設の概要、学内規則、昭和53年度までの処理実績等をまとめて、施設報として発刊し、関係各部局の利用者の方々に定期的にお配りすることは大変有益なことと考え、編集の運びとなった次第である。

水質の総量規制等、瀬戸内海に面した本学が取り組まねばならない環境保全に関する課題はまだ多く、本施設の在り方も完全に軌道に乗ったとはいえない状態である。

本施設報は利用者と環境管理施設をむすぶ掛け橋として、今後も定期的に刊行する方針ですので、御意見、御希望をお持ちの方は下記まで遠慮なくお寄せ下さい。

### 本施設に関する印刷物

- 岡山大学特殊廃水処理施設年報（昭和51年度）
- 岡山大学環境管理施設有機廃液部門（利用の手引き）
- 岡山大学環境管理施設無機廃液部門（利用の手引き）
- 岡大広報 4637（1978.12.20）

岡山大学環境管理施設
〒700 岡山市津島中3-1-1
電話 0862(52)1111 (内線 449)